

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束に付いて11項目の指針があるが、職員教育をも含めて身体拘束に対しての意識化が十分に実践が出来ていない	身体拘束に対する理解を深め、各ケースごとに検討を重ね、身体拘束廃止に向けて実践して行く事が出来るようになる	身体拘束に付いてのテキストの読み合わせを行う 個別ケースカンファレンスで検討する	12ヶ月
2	35	災害対策の実践が不十分である 地域や利用者をも含んだ避難訓練が出来ていない マニュアルの徹底が出来ていない	2回/年の避難訓練の実施 災害マニュアルの周知徹底が出来る	2回/年の避難訓練の実施 災害マニュアルの見直しを行う 職員研修の実施を行う 地域連絡網の整備をする	12ヶ月
3	26	モニタリングの実施と本人の出来る事出来ない事の把握が不十分である 重度化した場合の利用者の意向を計画に反映する事が難しい	本人の生活歴や出来る事出来ない事の把握を行いそれを計画に反映それを記録にも反映させる事によって入居者が重度化した場合においても日常の観察によって入居者の意向をくみ取る支援が出来るようにして行く	生活歴の把握をする 本人の出来る事出来ない事を把握する 利用者・家族と共に計画を作る	12ヶ月
4	13	職員を育てる仕組みが内外研修共に不十分である	研修を通して認知症ケアに対する意識を高める	1回/月の学習会を実施する 外部研修への参加を支援する 年間を通してのテキストの読み合わせを行う	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。